

箱根ジオパーク・サポーター講座 第3回

# 「みかん農園で知る石材の歴史」 参加者募集!



箱根ジオパークを応援するサポーターを募集しています。箱根が好きで、箱根ジオパークに関心のある方ならば、本講座の受講で、サポーター登録ができます。どなたでも大歓迎です。今年度は3回の講座を開催予定です。

**第3回講座** 真鶴町の農園でみかん狩りをしながら、石を切り出した痕跡を見学し、江戸城築城との関わりについて学びます。

**日時** 11月13日(土) 10時～12時頃 (受付開始9時45分～)

**講師** 佐々木 健策氏 (小田原市文化財課)

**集合場所** 松本農園 (真鶴町岩898-7)

**持ち物** 動きやすい服装、帽子、飲み物、みかん狩代 (中学生以上550円・3歳以上から小学生220円)

**定員** 15人 (先着順)

**申込先** 事前予約制。住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ、箱根ジオパークサポーター担当 (箱根ジオミュージアム) に電話、メールで申し込んでください。

☎83-8140 ✉geo-museum@town.hakone.kanagawa.jp

**森のふれあい館 開館30周年記念特別展「箱根の自然・今と昔」および記念講演会の開催について**

平成3年7月の開館以来、森のふれあい館は30周年を迎えました。これを記念して特別展「箱根の自然・今と昔」を開催します。世界中で観測されている自然環境の変化は箱根でも起きています。変化に耐えられず絶滅した動植物や新たに箱根に侵入してきた動植物などさまざまです。本展では、箱根の自然環境の変化を伝え、地球環境の未来を考えるきっかけとなる展示を行います。また、関連行事として記念講演会も開催しますので、是非とも参加してください。

**特別展「箱根の自然・今と昔」開催期間** 10月9日(土)～令和4年3月13日(日)

**記念講演会**  
①11月7日(日) 14時  
②11月14日(日) 14時  
③令和4年3月6日(日) 14時

**講演者** 勝山輝男 (元神奈川)



県立生命の星・地球博物館学芸員

**②11月14日(日) 14時**  
**演題** 「フィールドミュージアムの可能性」  
**講演者** 北垣憲仁 (都留文科大學教授)

**③令和4年3月6日(日) 14時**  
**演題** 「箱根の動物の今と昔」  
**講演者** 石原龍雄 (当館学芸員・元館長)

**定員** 各回30人 (先着順)

**申込方法** 電話予約

**その他** 一度の申込で1家族またはグループ4人まで応募できます。また、一度に複数日の応募も可能です。

**その他の行事**  
関連行事として、記念ファミリー植樹 (12月と3月) を開催します。詳しくは今後の広報でお知らせします。

☎8316006



**森のふれあい館 クルミのジャック作り**

森のふれあい館の「木のクラフト」に、10月限定の土台が30個限定で登場します! クルミとマツボックリを使って、オリジナルのハロウィンの飾りを作ってみませんか?

**開催期間** 10月1日(金)～31日(日)

**所要時間** 約30分

**参加費** 200円 (別途入館料)

**照会先** 森のふれあい館

☎8316006

# 13年ぶりに制定された 新たな地図記号って何?



## ～ 自然災害伝承碑の取り組みについて ～

国土交通省国土地理院 関東地方測量部防災課

皆さんは、令和元年に新たな地図記号が13年ぶりに制定されたのをご存じですか? その記号は「自然災害伝承碑」を表したものです。「自然災害伝承碑」(以下「伝承碑」という)は、過去に発生した自然災害の教訓を後世に伝えようと先人たちが残した恒久的な石碑やモニュメントです。国土地理院では、この伝承碑の情報を地形図等への掲載を令和元年度より開始しました。



写真1 西日本豪雨後、捜索にあたる緊急消防援助隊と水害碑 (写真提供: 大阪府警察)

伝承碑の取組が始まるきっかけは、平成30年(2018)7月の西日本豪雨(「平成30年7月豪雨」)です。この豪雨災害で甚大な被害を受けた広島県坂町小屋浦地区には、明治40年(1907)に発生した土砂災害を伝える石碑が設置されていたにもかかわらず(写真1白点線)、石碑に刻まれた先人の教訓が十分に伝承されず、迅速な避難行動につなげることができませんでした。これを踏まえ国土地理院では、全国に点在する伝承碑の情報をパソコンやスマートフォンから【誰でも無料で】閲覧できるウェブ地図「地理院地図」(図1)および2万5千分1地形図(図2)上に掲載しました。しかし、この取組のゴールは伝承碑を地図上に表示することではありません。地域で過去に起きた自然災害や教訓を知り、それらを身近に感じ、その教訓を踏まえた避難行動による被害の軽減を目的としているのです。

皆さんのお住まいの地域に伝承碑はありませんか? もしあれば、ぜひ足を止めて伝承碑をご覧ください。先人達の思いを感じることができるともかもしれません。地図を通して、今一度自然災害を身近に考えるきっかけや地域住民の防災意識の向上につなげられたらと願っています。

※「自然災害伝承碑」<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>



図2 2万5千分1地形図における伝承碑表示イメージ

図1 「地理院地図」での伝承碑表示イメージ



自然災害伝承碑  
サイト  
2次元コード